

4-⑨ 児童生徒の心身の健康を保持増進する

取組 2 1	感染症やアレルギー疾患への対応を含めた児童生徒への適正な健康管理
--------	----------------------------------

【担当所属：健康体育課 総合教育センター】

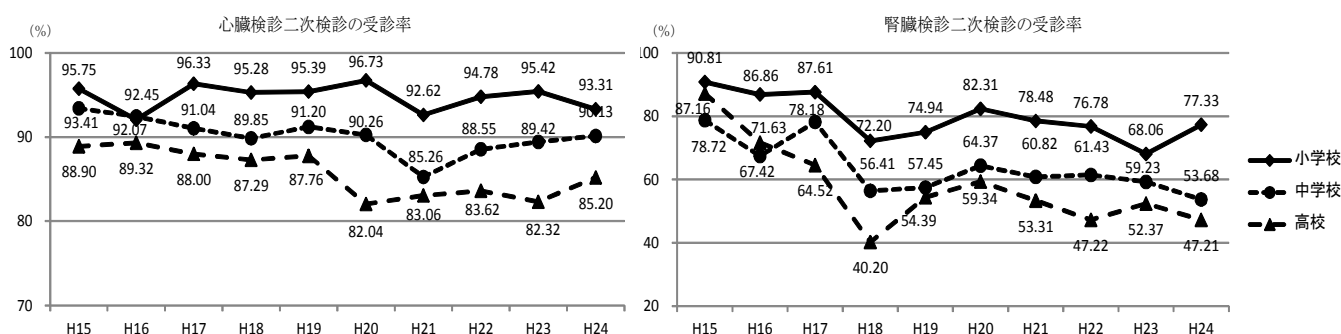
1 現状

(1) 健康診断の状況

児童生徒の健康増進を図り、健康で快適な学校生活を送るために、健康診断を適正に実施し、その結果を基に健康課題を把握し、解決していくことが重要です。

児童生徒の健康診断は保健管理の中核として実施していますが、その中で心臓、腎臓検診の二次検診では未受診者が増えてきています。

突然死や将来の重症化に結び付くおそれもあるため、受診を推進する取組が必要です。



(2) 感染症への対応

インフルエンザや麻しん等の感染症については、日頃から予防に努めるとともに、発症があった場合には感染拡大を防止するための初期対応が重要です。

通知や研修会等を通じて予防の指導を行っており、また、欠席者（出席停止）が出た場合には速やかに「感染症情報収集システム」に入力して、関係機関において情報を共有し、初期対応に努めています。

(3) 食物アレルギーへの対応

近年、食物アレルギーを有する児童生徒の数が増えています。食物アレルギー対応については、教職員が正しい知識を持ち、「学校生活管理指導表」を基に情報共有するとともに、緊急時に適切に対応できる体制づくり等が必要です。そのようなことから「学校における食物アレルギー対応マニュアル」を作成し、学校や幼稚園における活用を推進しています。

<平成25年度の公立学校の状況>

学校種	在籍者数	アレルギー疾患	内 訳 注		エビ°ペン処方注3
			食物アレルギー	アナフィラキシー注2	
幼稚園	5,880人	1,025人 (17.4%)	297人	30人	8人
小学校	108,548人	34,463人 (31.7%)	5,608人	449人	125人
中学校	56,712人	18,138人 (32.0%)	2,577人	175人	42人
高校	39,347人	12,981人 (33.0%)	1,805人	121人	19人
特別支援	1,724人	526人 (30.5%)	94人	11人	1人

注1) 内訳のうち、両方の症状を持つ児童生徒は、それぞれ計上している。

注2) 短時間のうちに全身にアレルギー症状が出る反応のこと

注3) アナフィラキシーに対する緊急補助治療薬のこと

(4) 感染症やアレルギー疾患等に関する研修会

教職員に対する研修会を開催し、知識の向上や適正な対応方法の啓発を図っています。

2 課題

- (1) 心臓・腎臓の精密検査の未受診を解消すること
- (2) 感染症やアレルギー疾患等に適切に対応すること

3 取組の方向

- (1) 心臓、腎臓の疾患は突然死や将来の重症化に結び付くおそれもあることから、二次検診の学校における未受診を解消します。
- (2) インフルエンザや麻しん等の感染拡大を防ぐための初期対応に努めます。
- (3) 幼児児童生徒のアレルギー疾患に適切に対応します。特に、食物アレルギーについては、「食物アレルギー対応マニュアル」の学校における活用を推進します。
- (4) 感染症やアレルギー疾患等に関する教職員の資質向上を図ります。

4 主な取組内容

- (1) 心臓、腎臓の二次検診の未受診の理由を把握します。また、教職員に対して研修会等を通じ二次検診の重要性を認識させるとともに保護者の理解と協力を得ることについて指導していきます。
- (2) インフルエンザや麻しん等の感染症予防について、通知や研修会等を通じ学校へ指導を行います。また、欠席者（出席停止）が出た場合には、速やかに「感染症情報収集システム」に入力して、関係機関において情報を共有し、感染拡大させないための初期対応に努めます。
- (3) 幼児児童生徒のアレルギー疾患については、「アレルギー疾患用学校生活管理指導表」により、学校医や園医の指導の下、適切に対応するよう指導します。
- (4) 特に食物アレルギーについては、「食物アレルギー対応マニュアル」に基づき「校内食物アレルギー対策委員会」を設置し、各学校・幼稚園の状況にあった食物アレルギー対応マニュアルを作成するよう指導します。
- (5) 教職員に対する感染症やアレルギー疾患等に関する研修会を開催します。

5 達成目標

目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況(H30)
(1) 公立学校における心臓検診の二次検診の受診率	小 93.31% (H24) 中 90.13% (H24) 高 85.20% (H24)	全校種 100%
(2) 公立学校における腎臓検診の二次検診の受診率	小 77.33% (H24) 中 53.68% (H24) 高 47.21% (H24)	全校種 100%
(3) 公立学校における「校内食物アレルギー対策委員会」の設置状況	小 59.3 % 中 62.3 % 高 22.8 %	全校種 100%

6 他の施策分野における関連した取組

- (1) 「現任保育士」等研修の中で「保育所におけるアレルギー疾患への対応」に関する研修を行い、幼児へのアレルギー対応に関する保育士の資質向上を図っています。
- (2) 幼児の健康を守る活動支援の一つとして保育園サーベイランス（感染症早期探知システム）の導入を県内保育所に推進しています。

(以上、子育て支援課)

